

第40回

# 中央区政 世論調査

## 概要

平成22年6月施行

CHUO CITY

【調査の項目】

- |              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| (1) 定住性      | (8) 防災対策                      |
| (2) がん検診     | (9) 生涯学習・スポーツ                 |
| (3) 高齢者対策    | (10) 福祉のまちづくり                 |
| (4) 子育て支援    | (11) 中央区コミュニティバス<br>(江戸バス)の運行 |
| (5) テレビ広報    | (12) 施策の要望・評価                 |
| (6) 男女共同参画社会 |                               |
| (7) 防犯対策     |                               |

【調査対象】中央区に居住する満20歳以上の男女個人

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法

平成22年4月30日現在の住民基本台帳に  
登録された満20歳以上の男女99,971人より  
一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法（郵送配布 - 郵送回収）

【調査時期】平成22年6月1日（火）～6月15日（火）

【調査機関】株式会社エスピー研

【回収の結果】回収数 1,004 回収率 50.2%



中央区

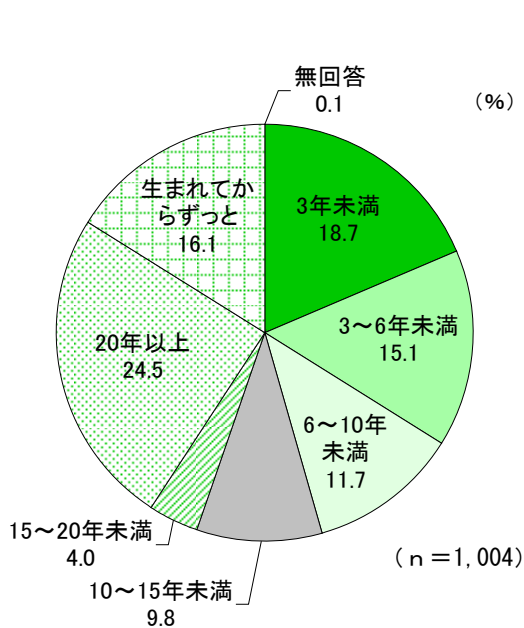
# 1 定住性

## ■ 居住年数

『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は40.6%で4割である。

また、『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は33.8%である。

過去の調査と比較すると、平成20年からは、『長期居住者』が増加傾向にあり、『短期居住者』が減少傾向にある。

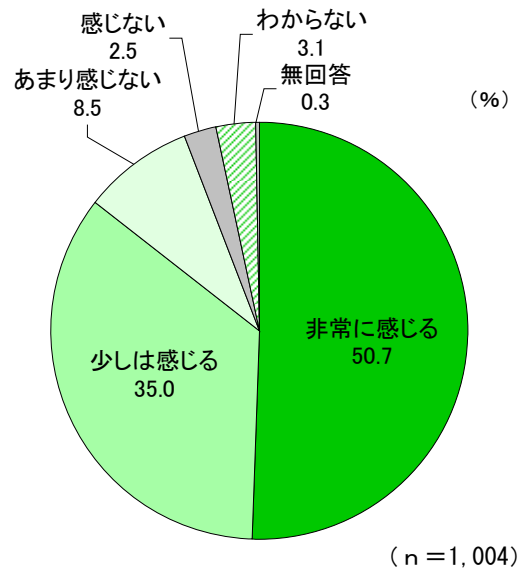


## ■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は85.7%で8割台半ばである。

一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は11.0%にとどまっている。

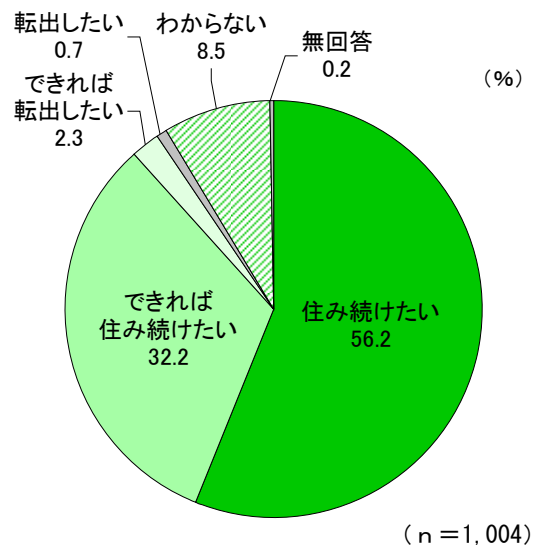
過去の調査と比較すると、「非常に感じる」は近年増加傾向にある。



## ■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は88.4%で約9割である。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は3.0%にとどまっている。

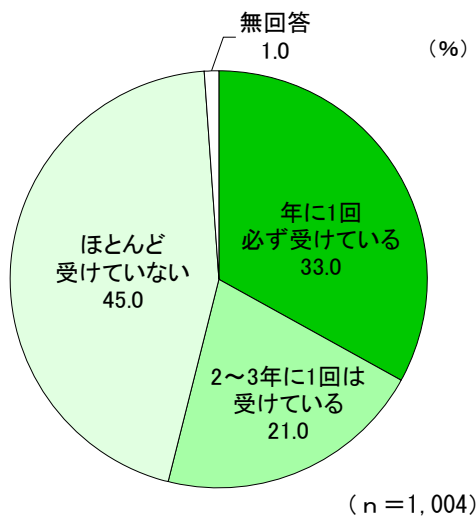
過去の調査と比較すると、『定住意向』は、平成8年から平成12年にかけて減少したが、それ以降はおおむね増加傾向にある。



## 2 がん検診

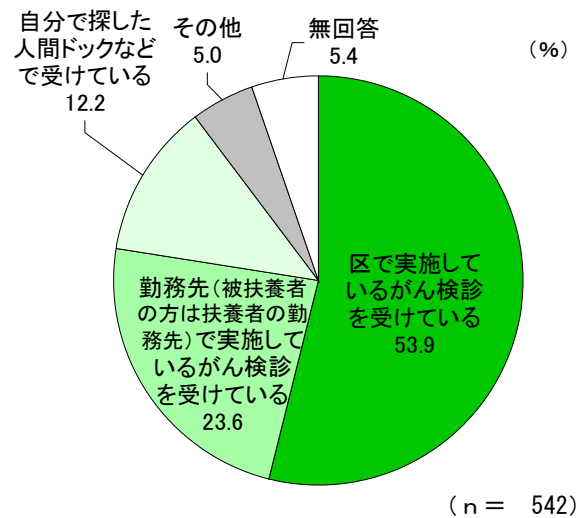
### ■がん検診の受診状況

『受けている』（「年に1回必ず受けている」と「2～3年に1回は受けている」の合計）は54.0%で5割台半ばである。一方、「ほとんど受けていない」は45.0%である。



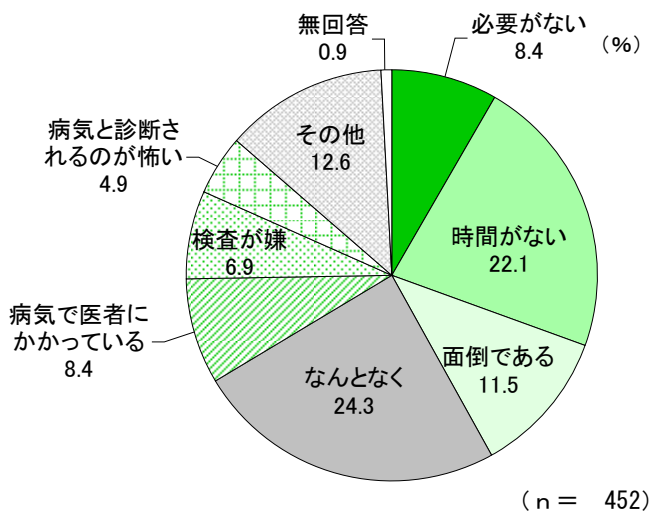
### ■がん検診の受診方法

「区で実施しているがん検診を受けている」（53.9%）が5割台半ばで最も高く、以下、「勤務先（被扶養者の方は扶養者の勤務先）で実施しているがん検診を受けている」（23.6%）、「自分で探した人間ドックなどで受けている」（12.2%）が続いている。



### ■がん検診を受けていない理由

「なんとなく」（24.3%）が2割台半ばで最も高く、以下、「時間がない」（22.1%）、「面倒である」（11.5%）などが続いている。



### 3 高齢者対策

#### ■ 要介護時における暮らし方

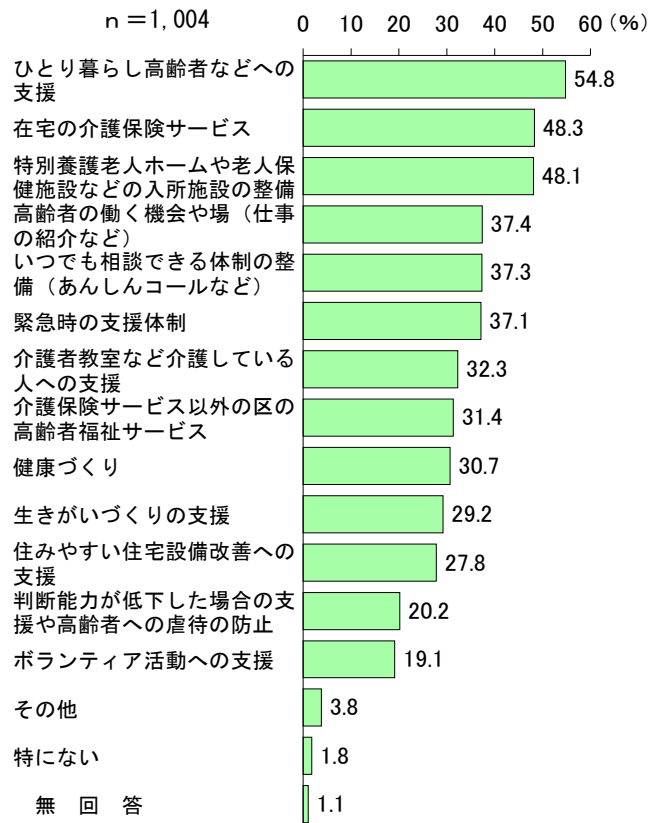
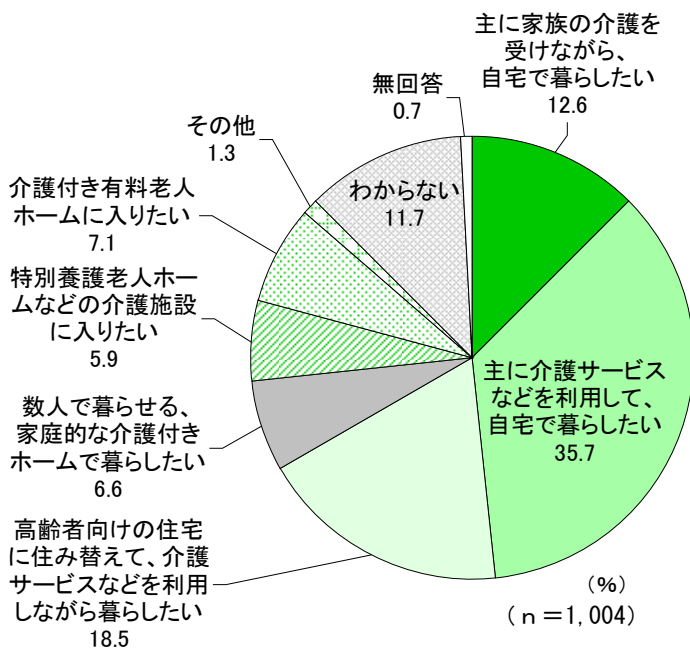
『自宅で暮らしたい』（「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」と「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の合計）が48.3%で約5割である。

過去の調査と比較すると、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は平成17年以降減少傾向にある。

#### ■ 区に望む高齢者保健福祉サービス

「ひとり暮らし高齢者などへの支援」（54.8%）が5割台半ばで最も高く、以下、「在宅の介護保険サービス」（48.3%）、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所施設の整備」（48.1%）などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「高齢者の働く機会や場（仕事の紹介など）」で7ポイント減少している。

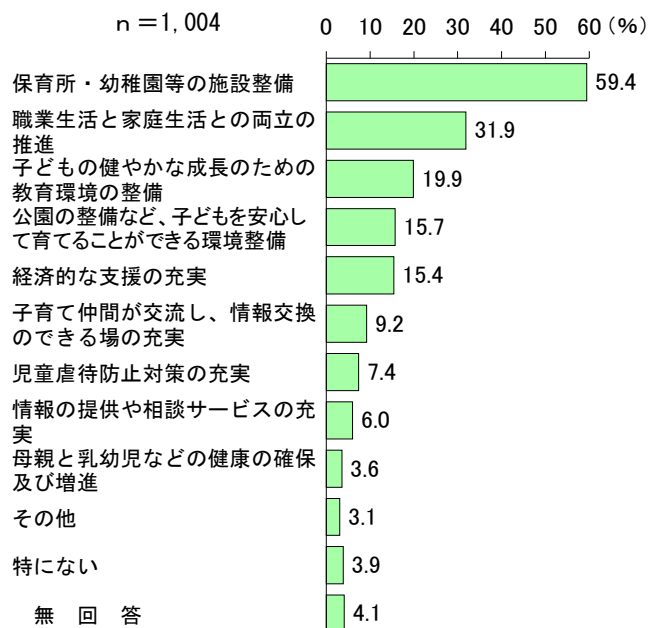


## 4 子育て支援

### ■ 区に望む子育て支援策

「保育所・幼稚園等の施設整備」(59.4%)が約6割で最も高く、以下、「職業生活と家庭生活との両立の推進」(31.9%)、「子どもの健やかな成長のための教育環境の整備」(19.9%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「保育所・幼稚園等の施設整備」が17ポイント増加し、「経済的な支援の充実」が11ポイント減少している。



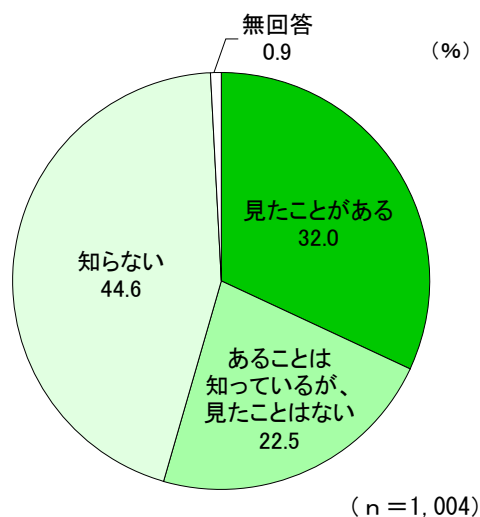
## 5 テレビ広報

### ■ 広報番組「こんにちは 中央区です」の認知度

『知っている』(「見たことがある」と「あることは知っているが、見たことはない」の合計)は54.5%で5割台半ばである。

一方、「あることを知らない」は44.6%であり、『知っている』が10ポイント高くなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「見たことがある」は4ポイント、「知っている」は6ポイント増加している。

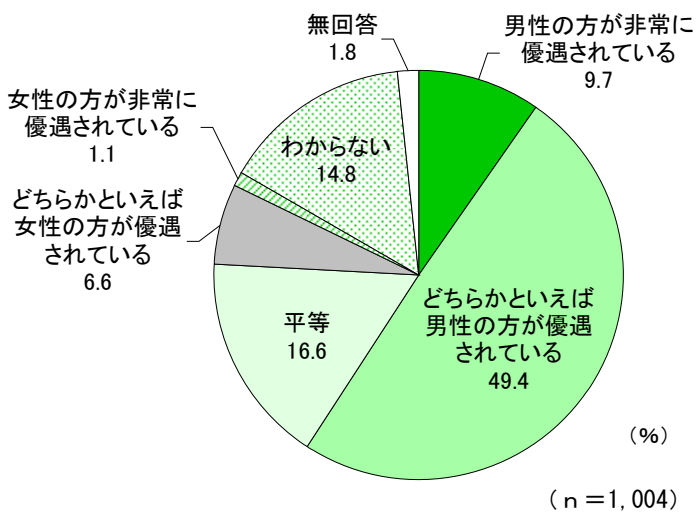


## 6 男女共同参画社会

### ■ 男女の地位の平等感

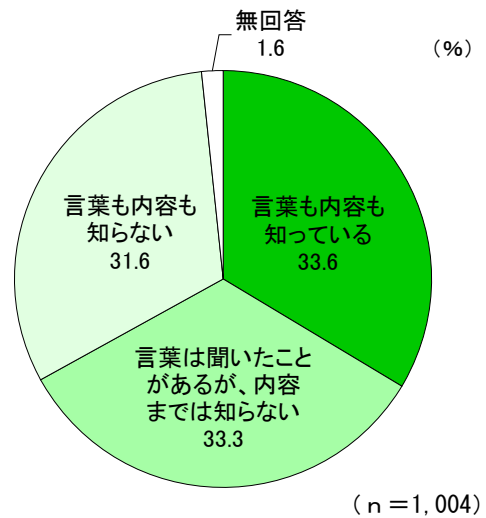
『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）は59.1%で約6割となっている。

一方、『女性の方が優遇されている』（「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計）は7.7%にとどまっている。



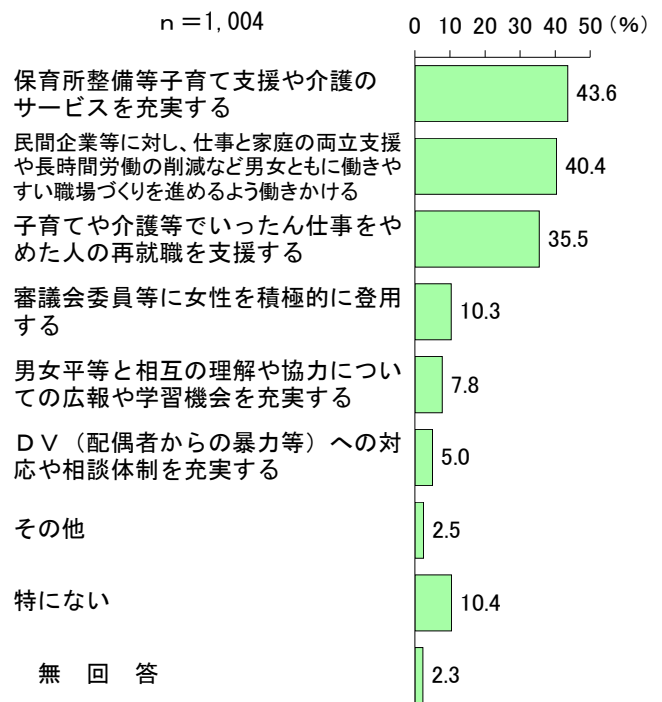
### ■ 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

「言葉も内容も知っている」(33.6%)、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(33.3%)、「言葉も内容も知らない」(31.6%)の3項目の割合がほぼ同じとなっている。



### ■ 「男女共同参画社会」の実現のために力を入れていくべき施策

「保育所整備等子育て支援や介護のサービスを充実する」(43.6%)が4割台半ばで最も高く、以下、「民間企業等に対し、仕事と家庭の両立支援や長時間労働の削減など男女ともに働きやすい職場づくりを進めるよう働きかける」(40.4%)、「子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」(35.5%)などが続いている。

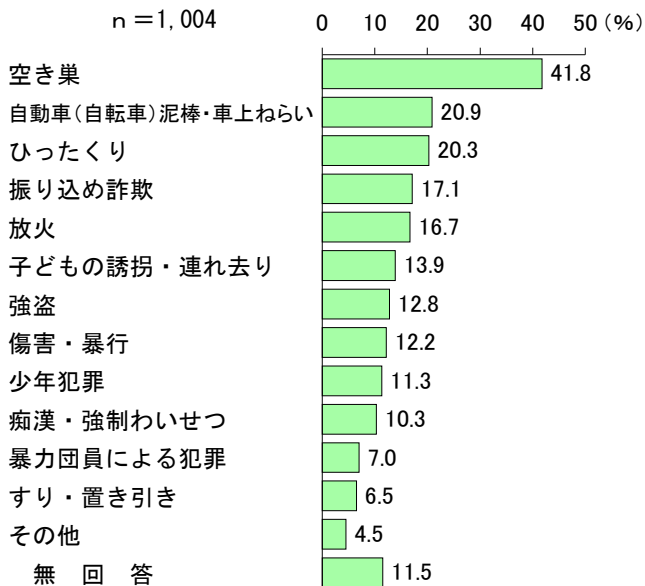


# 7 防犯対策

## ■ 不安に感じる犯罪

「空き巣」(41.8%)が4割を超え最も高く、以下、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(20.9%)、「ひったくり」(20.3%)、「振り込め詐欺」(17.1%)などが続いている。

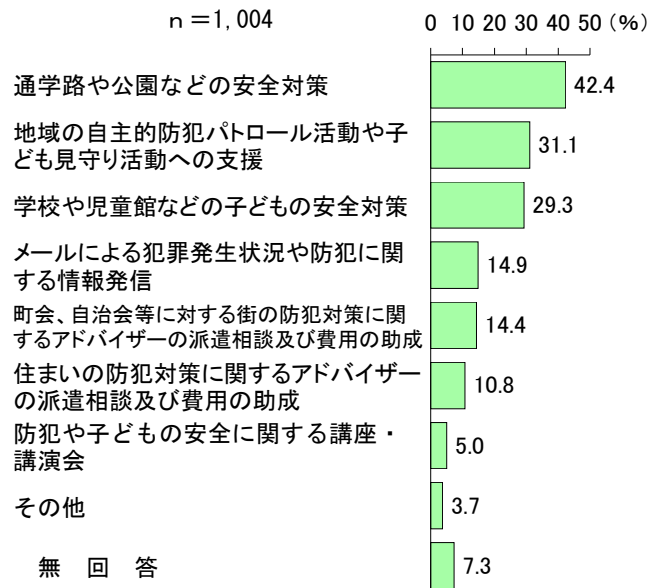
昨年の調査結果と比較すると、「振り込め詐欺」が5ポイント増加し、「ひったくり」が7ポイント減少している。



## ■ 区に特に力を入れてほしい施策

「通学路や公園などの安全対策」(42.4%)が4割を超え最も高く、以下、「地域の自主的防犯パトロール活動や子ども見守り活動への支援」(31.1%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(29.3%)、「メールによる犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」(14.9%)などが続いている。

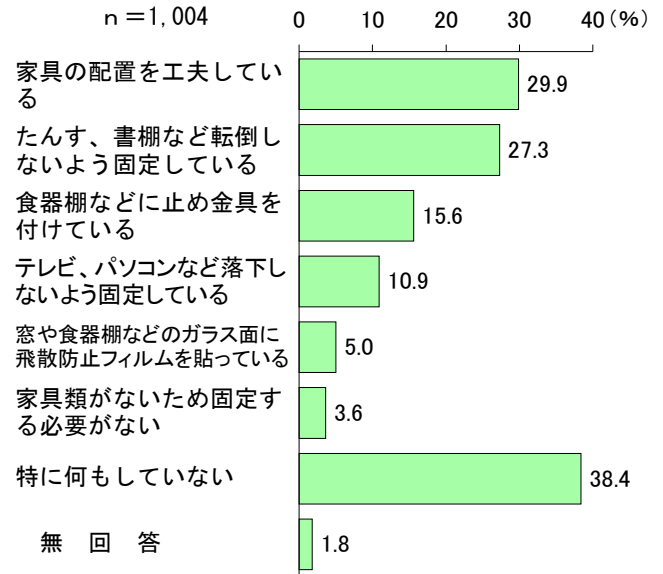
昨年の調査結果と比較すると、「学校や児童館などの子どもの安全対策」が6ポイント増加している。



## 8 防災対策

### ■家具の転倒やガラスの飛散への備え

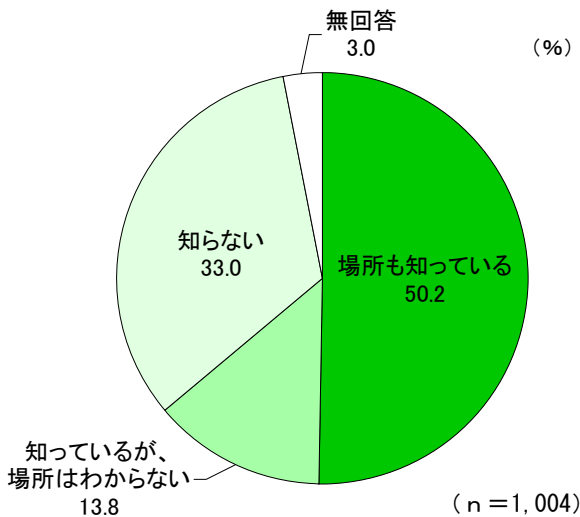
「家具の配置を工夫している」(29.9%)と「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」(27.3%)が約3割となっている。ただし、「特に何もしていない」が38.4%で約4割と最も高くなっている。



### ■防災拠点の認知度

「場所も知っている」は50.2%で5割である。一方、「知らない」は33.0%である。

過去の調査結果と比較すると、近年は、「場所も知っている」は、おおむね横ばいで推移している。

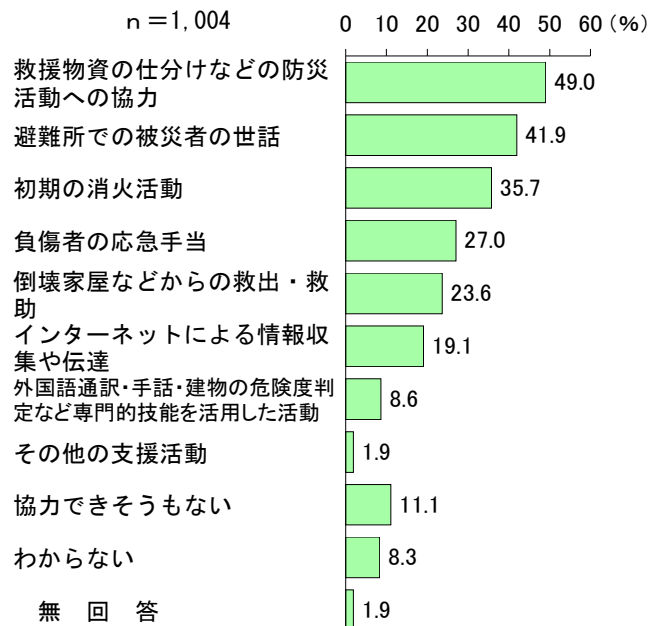


### ■災害時に協力できる活動

「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」(49.0%)が約5割で最も高く、以下、「避難所での被災者の世話」(41.9%)、「初期の消火活動」(35.7%)などが続いている。

一方、「協力できそうもない」が11.1%となっている。

昨年の調査結果と比較すると、どの項目もおおむね横ばいで推移している。

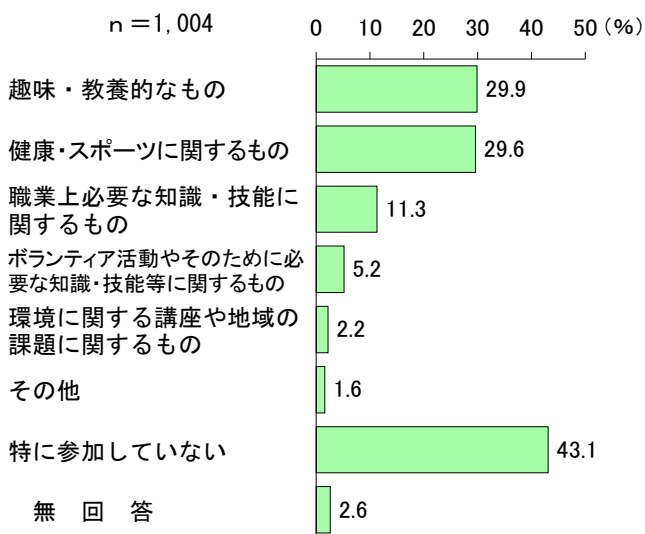




## 9 生涯学習・スポーツ

### ■生涯学習への参加

「趣味・教養的なもの」(29.9%)と「健康・スポーツに関するもの」(29.6%)が約3割となっている。ただし、「特に参加していない」(43.1%)が4割台半ばで最も高くなっている。

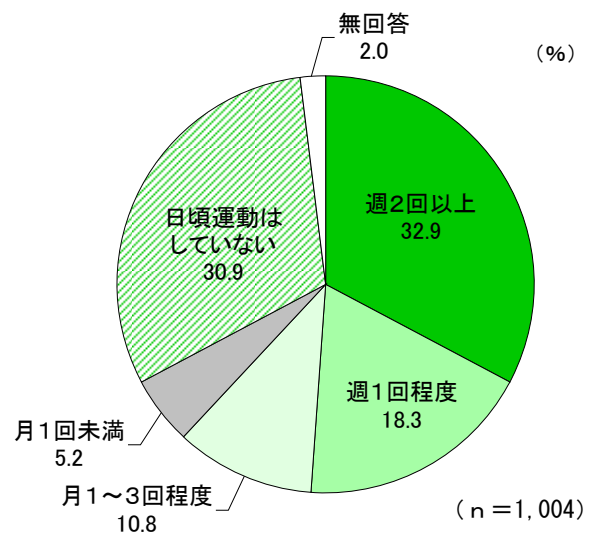


### ■日頃の運動状況

「週2回以上」(32.9%)が3割を超え最も高く、以下、「週1回程度」(18.3%)、「月1～3回程度」(10.8%)などが続いている。

一方、「日頃運動はしていない」が30.9%である。

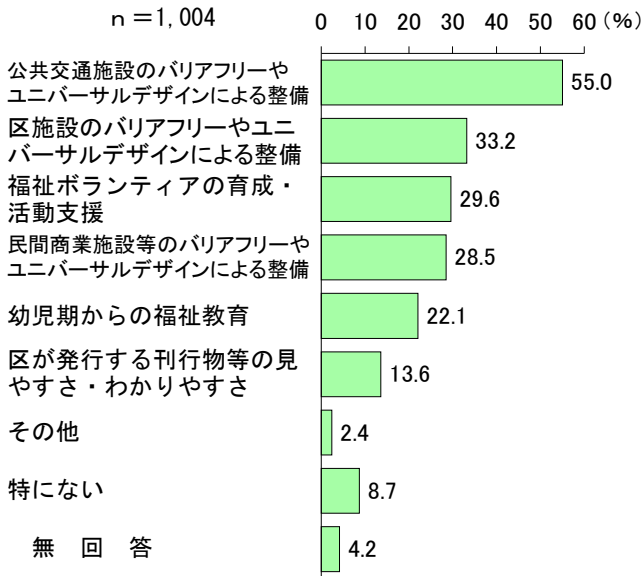
昨年の調査結果と比較すると、どの項目もおおむね横ばいで推移している。



# 10 福祉のまちづくり

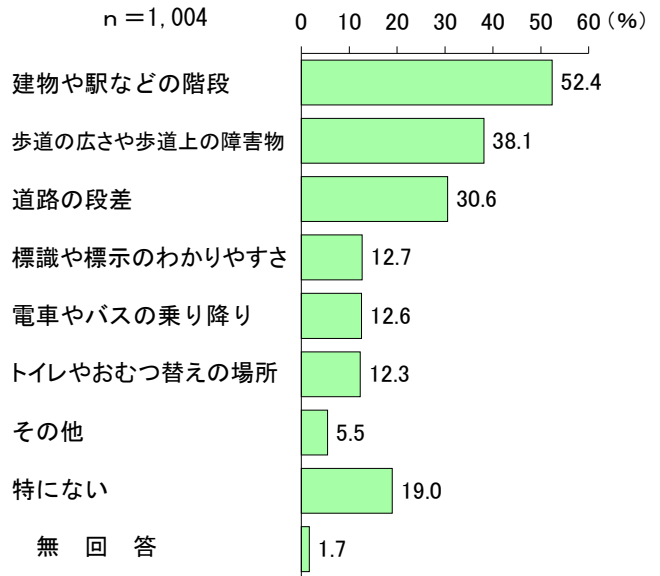
## ■福祉のまちづくりを進めるために 力を入れていくべき施策

「公共交通施設のバリアフリーやユニバーサルデザインによる整備」(55.0%)が5割台半ばで最も高く、以下、「区施設のバリアフリーやユニバーサルデザインによる整備」(33.2%)、「福祉ボランティアの育成・活動支援」(29.6%)などが続いている。



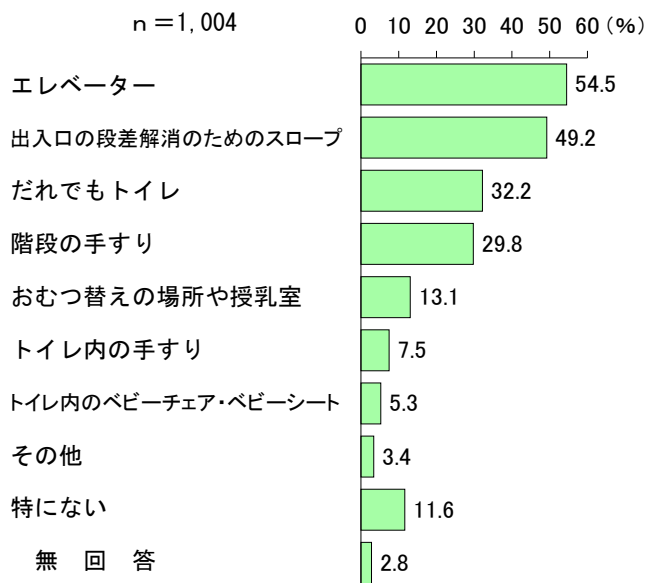
## ■外出する際に不便に思うこと

「建物や駅などの階段」(52.4%)が5割を超え最も高く、以下、「歩道の広さや歩道上の障害物」(38.1%)、「道路の段差」(30.6%)などが続いている。



## ■誰もが利用しやすい施設を整備 する上で必要な設備

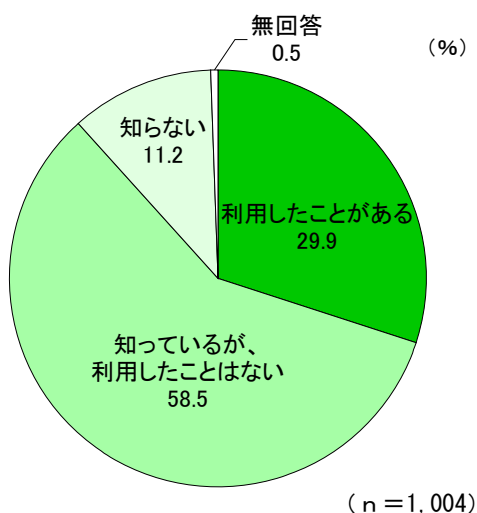
「エレベーター」(54.5%)が5割台半ばで最も高く、以下、「出入口の段差解消のためのスロープ」(49.2%)、「だれでもトイレ」(32.2%)、「階段の手すり」(29.8%)などが続いている。



# 11 中央区コミュニティバス（江戸バス）の運行

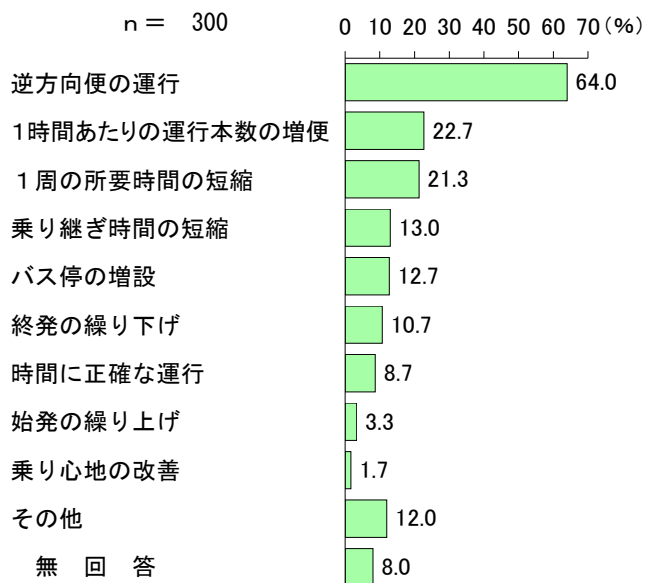
## ■ 「江戸バス」の利用経験

「知っているが、利用したことはない」(58.5%)が約6割で最も高く、以下、「利用したことがある」(29.9%)、「知らない」(11.2%)となっている。



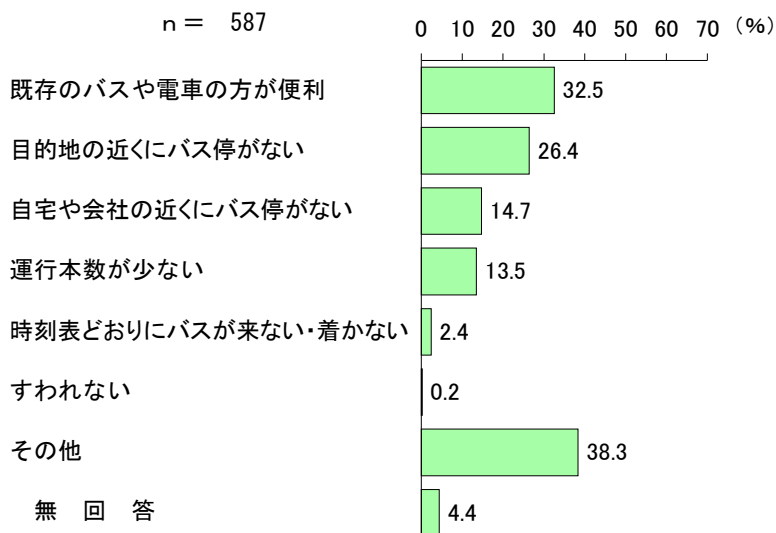
## ■ 「江戸バス」に対する要望

「逆方向便の運行」(64.0%)が6割台半ばで最も高く、以下、「1時間あたりの運行本数の増便」(22.7%)、「1週の所要時間の短縮」(21.3%)などが続いている。



## ■ 「江戸バス」を利用しない理由

「既存のバスや電車の方が便利」(32.5%)が3割を超え最も高く、以下、「目的地の近くにバス停がない」(26.4%)、「自宅や会社の近くにバス停がない」(14.7%)、「運行本数が少ない」(13.5%)などが続いている。

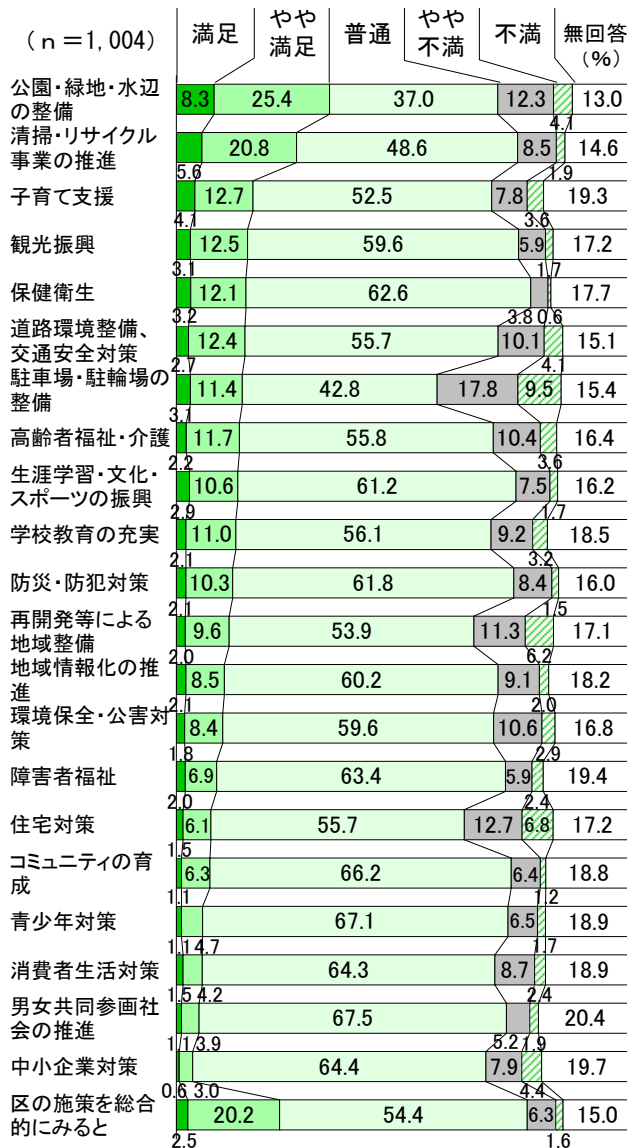


# 12 施策の要望・評価

## ■ 区の施策の満足度

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合のそれぞれの上位5項目をあげると次のようになる。

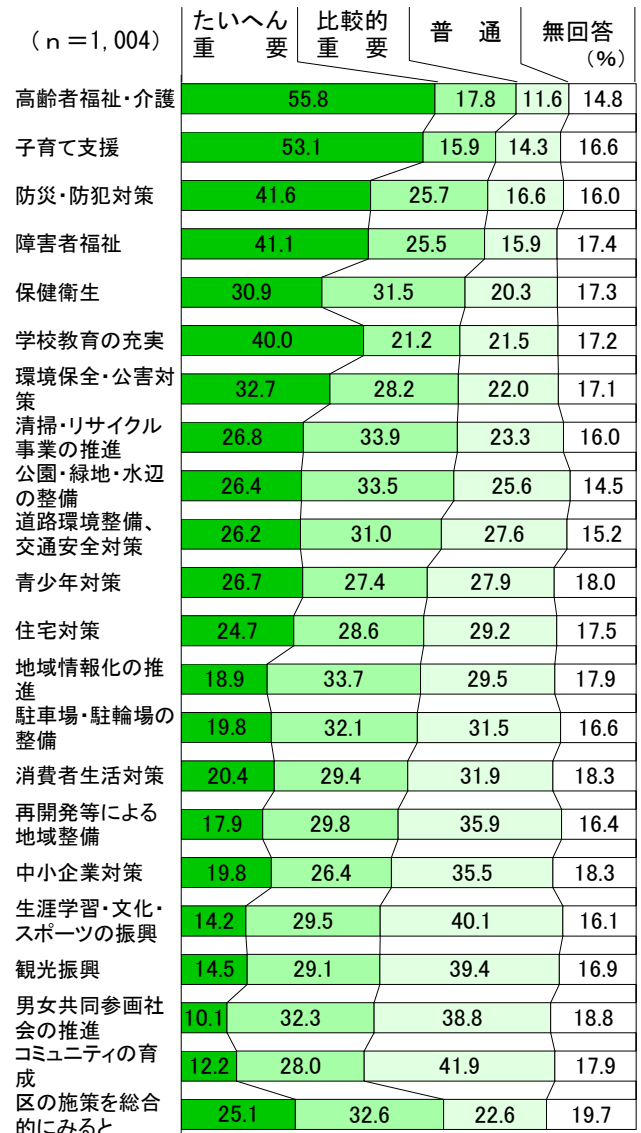
- 『満足』 ①公園・緑地・水辺の整備 (33.7%)  
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (26.4%)  
 ③子育て支援 (16.8%)  
 ④観光振興 (15.6%)  
 ⑤保健衛生 (15.3%)
- 『不満足』 ①駐車場・駐輪場の整備 (27.3%)  
 ②住宅対策 (19.5%)  
 ③再開発等による地域整備 (17.5%)  
 ④公園・緑地・水辺の整備 (16.4%)  
 ⑤道路環境整備、交通安全対策 (14.2%)



## ■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①高齢者福祉・介護 (73.6%)  
 ②子育て支援 (69.0%)  
 ③防災・防犯対策 (67.3%)  
 ④障害者福祉 (66.6%)  
 ⑤保健衛生 (62.4%)
- 下位 ①コミュニティの育成 (40.2%)  
 ②男女共同参画社会の推進 (42.4%)  
 ③観光振興 (43.6%)  
 ④生涯学習・文化・スポーツの振興 (43.7%)  
 ⑤中小企業対策 (46.2%)



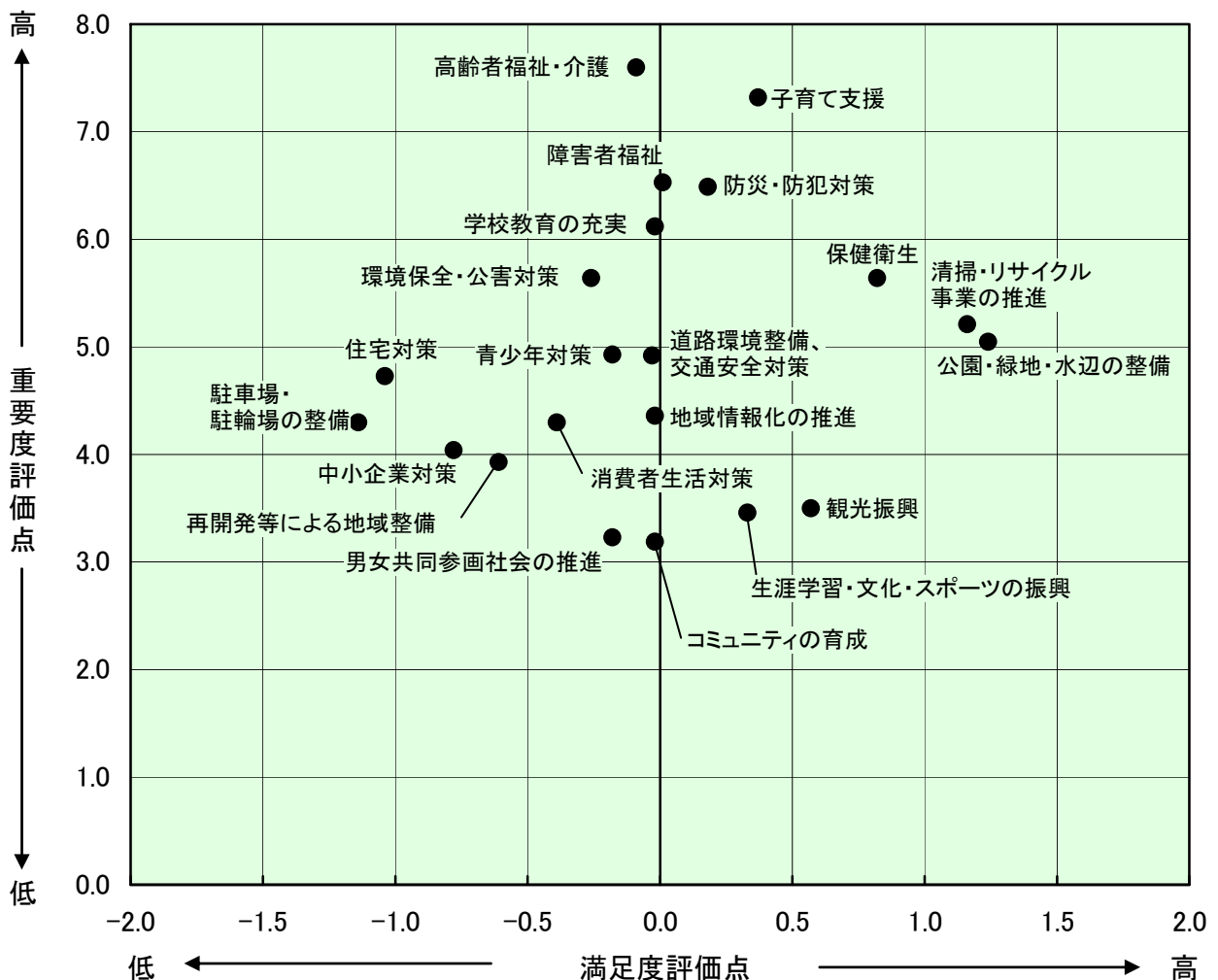
## ■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\text{満足度評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点})}{\text{回答者数} - \text{無回答者数}}$$

$$\text{重要度評価点} = \frac{(\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点})}{\text{回答者数} - \text{無回答者数}}$$

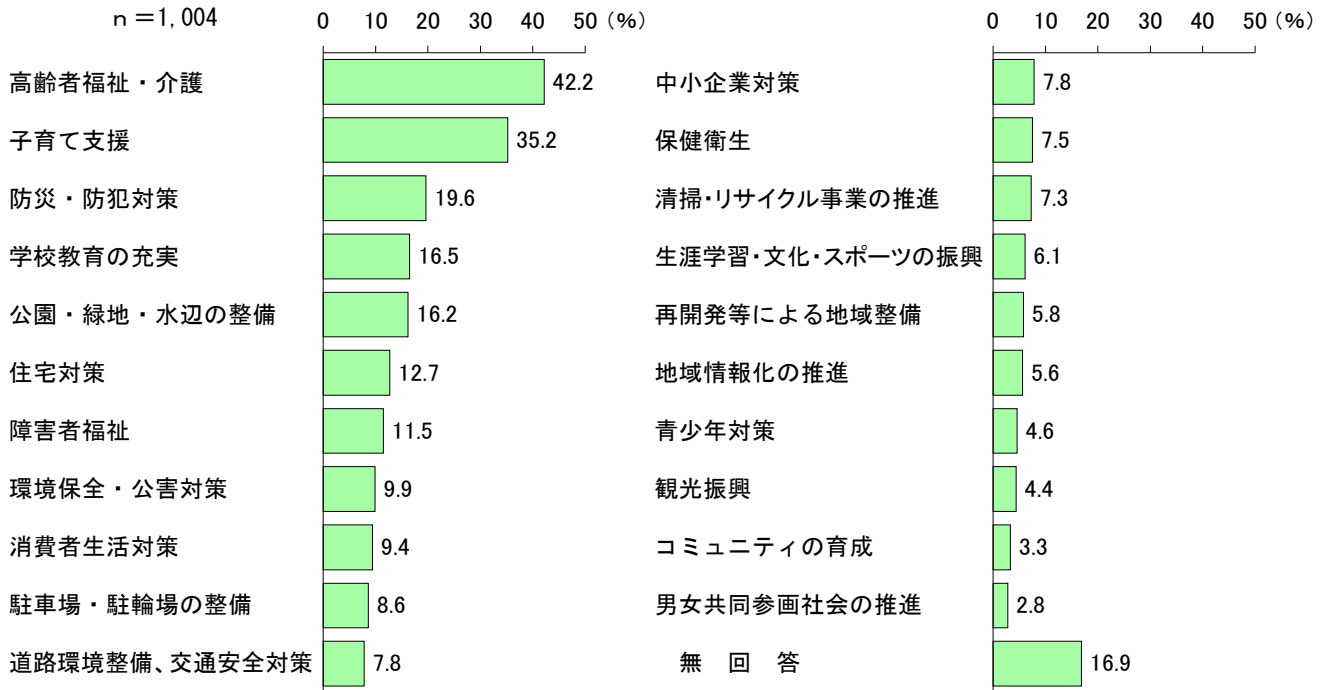
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



## ■ 区の施策への要望

「高齢者福祉・介護」（42.2%）が4割を超え最も高く、以下、「子育て支援」（35.2%）、「防災・防犯対策」（19.6%）などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、上位3項目については、同じ項目となっている。



## 第40回 中央区政世論調査

平成22年9月

発行 中央区企画部広報課  
中央区築地1丁目1番1号  
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社エスピー研  
千代田区飯田橋3丁目11番20号  
03(3239)0071

刊行物登録番号  
22-038